



信田みつやす した光保 県議会レポート

自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043-227-7411



“海を拓く”

名洗港完成予想図

名洗港整備 48億円

銚子市沖洋上風力発電の拠点港整備へ!

港湾の整備期間は来年度から5ヶ年

信田県議が委員を務める「千葉県地方港湾審議会」は、令和4年3月28日まで、3回開催され、港湾計画が改訂されました。また「千葉県県土整備公共事業評価審議会」は、令和4年11月18日、銚子市沖の洋上風力発電事業において、建設補助・維持管理拠点となる名洗港の整備事業について事前評価が審議され、千葉県が事業主体となり、約48億円を投じ、物揚場や防波堤、航路などの整備について、令和5年度から新規事業として着手されることが了承されました。

以下、名洗港整備及び銚子市沖洋上風力発電事業について、その内容を特集します。



いあいやい

洋上風力の風車の運転開始に向け、名洗港を利用できるように、防波堤や岸壁などの必要な施設整備を行い、港湾機能の強化を図っていきます。

また、港湾計画に位置付けた全ての整備を行うためには、大きな費用と長い期間を要することから、まずは、令和10年9月の風車の稼働に向けて静穏性を確保し、洋上風力発電の事業者である、千葉オフショアウインド合同会社が利用できる形での段階的な整備を優先して実施することとなります。

私は、これまで「銚子市発展の起爆剤は名洗港にあり」と唱えてまいりましたが、国策事業といえる、このビックプロジェクトが銚子市活性化の大きなチャンスと捉え、官民一体となり将来を見据えた名洗港の基盤整備をしっかり取り組んでまいりたい決意です。

市民の皆様におかれましては引き続き叱咤激励、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

千葉県議会議員

信田 光保

千葉県 県土整備部 港湾課

第1回千葉県県土整備公共事業評価審議会
事前評価 結果 令和4年11月18日

地域振興・産業創出へ 銚子沖洋上風力始動!

名洗港整備事業

名洗港は、銚子市沖の洋上風力発電の促進区域に隣接する港湾であり、建設補助・維持管理の拠点としての機能確保が期待されている。人員輸送船による利用が求められる一方で、漂砂による航路・泊地の埋没の影響により船舶が係留できない状況となっていることから、整備により、洋上風力発電設備の設置・メンテナンスの効率化による業務コストの削減や航路の維持浚渫に係る費用の削減を図る。

この事業は、カーボンニュートラルの取り組みの一つである洋上風力発電の促進に寄与するとともに、洋上風力発電のメンテナンス港としての整備により地元企業が参入することで地域経済の活性化につながる。さらに、海に風車が立ち並ぶ景観が新たな観光スポットとなり、観光振興につながることを期待されている。

事業概要
令和5年度(令和9年度)
総事業費約48億
総事業構成施設
▽係留施設 ①物揚場270m(水深3.5m) ②98m(水深3.5m) ③140m(既存岸壁改良)
▽水域施設 ①航路(水深3.5m)
▽外郭施設 ①名洗防波堤(2)(改良)延長70m ②防波堤延長200m ③港内防波堤延長300mを整備。

事業の背景
令和4年3月に、名洗港



整備箇所図 ※第1期分 R5~9:実線、第2期分 R10~:破線



熊谷知事と名洗港を望む信田県議(展望館より)



小規模コンテナターミナルのイメージ

洋上風力発電の建設補助・維持管理拠点の確保
銚子沖洋上風力発電事業では、基地港湾は鹿島港建設補助や維持管理の拠点は名洗港が担う。基地港湾では大型の部材を建設時に使用し、運転開始後にも大型資機材の保管や大規模なメンテナンスで使用する。

地域経済の活性化
洋上風力発電事業は、風車の部品製造やメンテナンスなどで地元企業の参入が見込まれ、雇用の創出が期待される。

港湾計画が改訂された。
洋上風力発電設備の建設補助・維持管理拠点の形成を中心とした、5つの主要施策が掲げられた。
名洗港港湾計画の主要施策
①洋上風力発電設備の建設補助・維持管理拠点の形成
②豊かな自然と風車を眺める緑地空間の形成
③港内静穏性確保と埋没対策を兼ねた防波堤整備

公共埠頭計画
岸壁背後にはバルク貨物の荷捌用地、コンテナ蔵置スペース、バルク貨物保管用地を確保する。
限られた埠頭用地でバルクとコンテナを併用するため、多目的クレーンで荷役を行う計画とした。また、狭いスペースでも横持ちが

事業の必要性
地球温暖化対策として、風力や太陽などの再生可能エネルギーの導入を促進する必要性が高まっており、先の東日本大震災により、先の東日本大震災により、再生可能エネルギーの導入推進は国家的な重要課題となっている。
特に、洋上風力発電は、陸

経済的・社会的効果
本事業では促進区域に選定された海域を対象として、洋上風力発電の建設補助維持管理の拠点を形成するための整備を対象としている。
人員輸送船で移動する距離を削減することによる便益を計上する。
名洗港が利用できない場合、代替港である鹿島港を利用する必要がある。名洗港を利用することで移動時間を短縮され、業務コストの削減が図られる。



令和4年度 千葉県港湾整備振興大会にて重点要望

期待される効果
風車の設置・メンテナンス効率の向上、洋上風力発電設備の建設補助および維持管理の拠点を形成、風車設置やメンテナンスの効率化によりコストの削減、人員輸送や物資輸送に係る時間が短縮、風車設置やメンテナンスの効率化によりコストの削減

●県政や銚子市のご要望をお気軽にお寄せください...

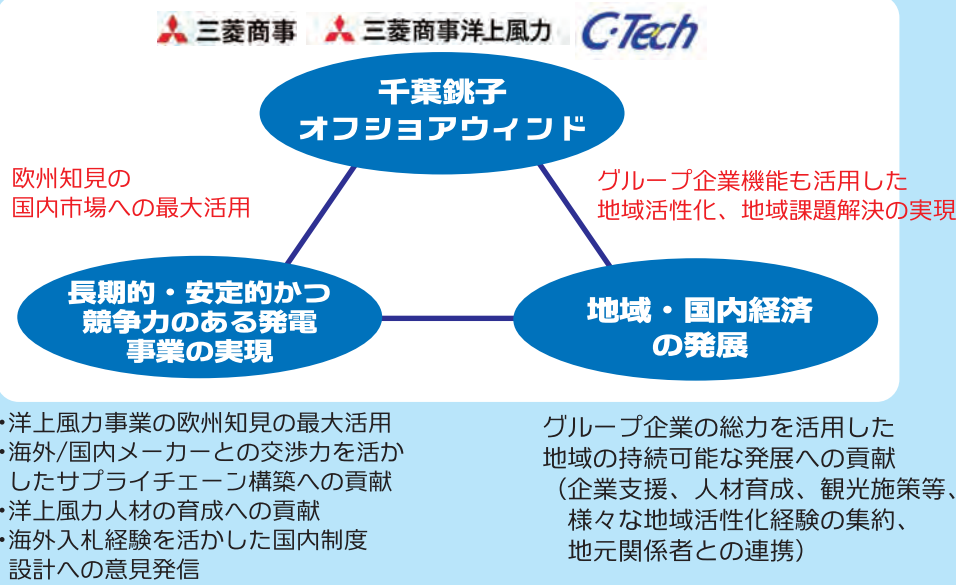
しだ光保事務所

〒288-0044 銚子市西芝町13-20 Jビル2F
TEL.0479(25)3284 FAX.0479(22)1816

千葉銚子オフショアウインド合同会社

第4回千葉県銚子沖における協議会

洋上風力発電事業の取り組み方針



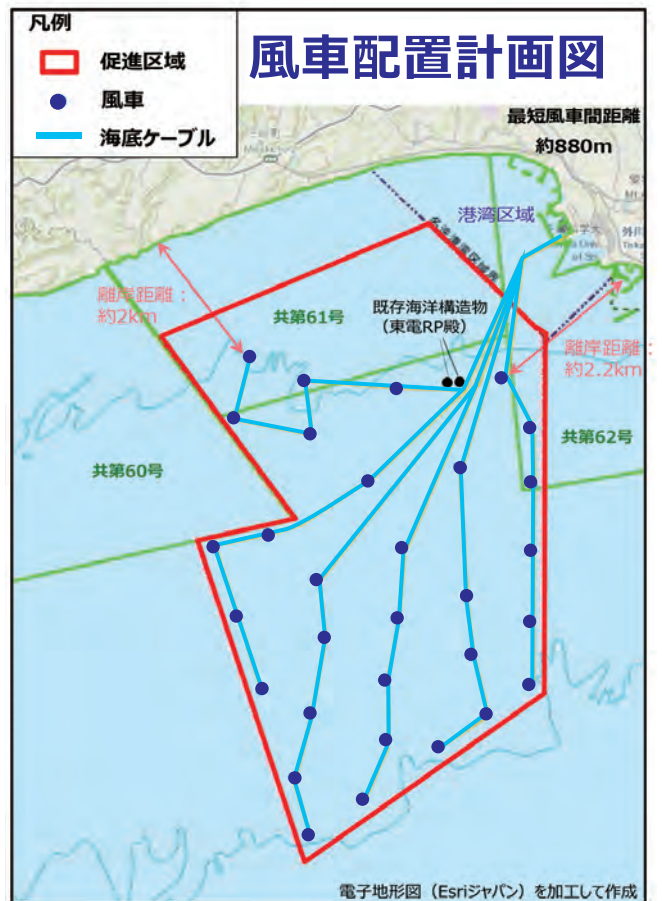
洋上風力発電事業

千葉県は、経済産業省資源エネルギー庁及び国土交通省港湾局と共同で「再エネ海域利用法」による「千葉銚子市沖」における協議会を令和元年11月に設置し、令和3年12月に公募により選定された事業者である千葉銚子オフショアウインド合同会社(三菱商事洋上風力・三菱商事シーテック)を構成員に加え、第4回協議会が令和4年11月21日、千葉市内のホテルを会場に開催されました。事業者側からは陸上にお

る、洋上風力発電事業についての取り組みについて説明会が実施され、その内容を抜粋して掲載します。

■本プロジェクトの取り組み方針

▼再エネ海域利用法、ならびに本協議会における意見を尊重し、基本理念である「地元との共存共栄の理念」「本海域における発電事業が、地域における新たな産業、雇用、観光資源の創出などの価値を有することを理解の上、つぎを創るをコンセプトとした新



(注) 上記風車配置は公募時点の計画であり、今後の調整により変更が生じる可能性があります。

しい形の発電事業を目指します。

▼関係者意見を尊重すると共に、事業の実施にあたっては常に丁寧な情報開示と協議を徹底し、その時点での最良の協調・共生策を講ずるべく、真摯、且つ最大限の誠意をもって本事業に取り組んでいきます。

■洋上風力発電設備等の設置位置等について

▼協議会意見をはじめとする関係者意見を踏まえ、風車配置を計画していきます。

▼今後、関係漁業者をはじめとする地域との協議、環境影響調査や海底地盤調査の結果を踏まえ、必要に応じて最適化を図って参ります。

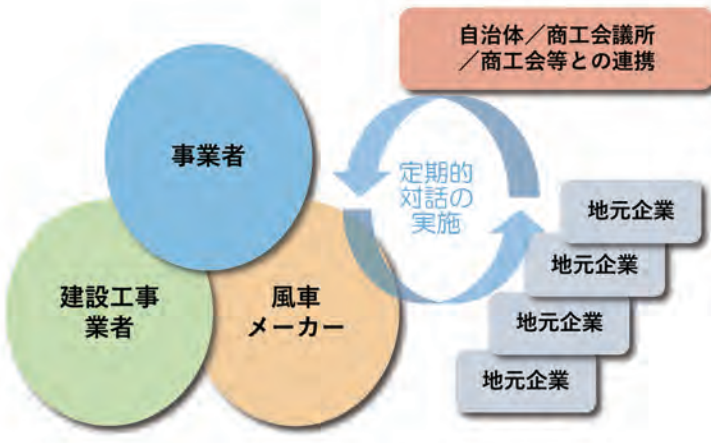
■協議会意見とりまとめ留意事項への対応

▼漁業への支援
銚子市漁協及び海匠漁協への丁寧な説明・協議を継続しております。

▼船舶の航行
本海域における航行の安全

サプライチェーン構築に向けた取組

地元自治体や元請企業と連携し、地元企業を活用したサプライチェーンの構築を目指します。



確保に向けて関係者との協議を入札以前から継続しております。

▼景観配慮
○主要景観ポイントから富士山および屏風ヶ浦と風車が重ならない配置を計画しております。

▼環境配慮
風車稼働による騒音、超低周波音、風車の影等の生活環境に与える影響を考慮した配置計画とし、関係者との協議を継続して実施しております。

▼既存海洋構造物
既存海洋構造物からの離隔をはじめとする関係者専門家を踏まえ、関連法令に

地域活性化につながる共生策



事業スケジュール

選定通知 2021年 12月	開発 (約3年)	着工 2025年	建設 (3~4年)	運転開始 2028年 9月	操業・撤去 (約24年)
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 公募占用計画認定 ✓ 海底地盤調査 ✓ 環境影響評価 ✓ 詳細設計、各種認証 ✓ 漁場実態調査/漁業影響調査 ✓ 地域共生策の協議・一部実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 陸上送変電設備工事 ✓ 風車基礎・海底ケーブル設置 ✓ 風車据付 ✓ 試運転 ✓ 漁場実態調査/漁業影響調査 ✓ 地域共生策の協議・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 運転・保守 ✓ 地元企業活用強化 ✓ 撤去計画策定・着工 ✓ 漁場実態調査/漁業影響調査 ✓ 地域共生策の改善・深化 			

洋上風力の組立拠点として「鹿島港」と「名洗港」の連携

銚子市沖洋上風力発電建設の前線基地として整備

鹿島港外港地区国際物流

ターミナル(マイナス12m)整備事業

洋上風力発電設備の設置及び維持管理においては、重厚長大な資機材を扱うことが可能な耐荷重広さを備えた埠頭が必要であり、高度な維持管理のほか、広域に展開し、参入時期の異なる複数の発電事業者間の利用調整が必要となります。

このため、国が基地港湾を指定し、当該基地港湾の特定の埠頭を構成する行政財産について、国から再工

洋上風力発電を建設する際、大型風車などの設備をあらかじめ組み立てる拠点となる基地港が必要となります。

そこで、国は、直轄事業として鹿島港の外港地区(鹿嶋市)において、令和5年度の完成に向け整備が進んでおります。



鹿島港



鹿島港

名洗港

【事業の概要】
洋上風力発電設備の効率的な輸送・建設を可能とし、洋上風力発電の導入促進を図るため、岸壁の整備、地耐力強化等の港湾施設の整備を行う。

○促進区域として想定される面積や系統容量を踏まえ、8MW以上の洋上風力発電設備、約40基を便益計上対象とする。

▼整備施設○岸壁(水深12m)・延長200m○航路・泊地(水深12m)○地耐力



SEP船(自己昇降式台船)

強化が必要



3万DWT級船舶の利用例

強化(エプロン100m)
▼事業期間
令和2年度～令和5年度
▼総事業費94億円
海外港湾における8MW級洋上風量発電設備の取り扱い事例
エスピアウ港(デンマーク)

鹿島港外港地区(洋上風力拠点港)視察研修会を実施

令和4年12月21日、信田県議が呼びかけ人となり、銚子市より島田副市長以下5名・銚子市漁業協同組合より和田副組合長以下4名・銚子商工会議所より岡田会頭以下9名・発電事業者(三菱商事洋上風力(株))より花崎副部長以下2名の総勢21名の視察団を結成し、国土交通省鹿島港湾・空港整備事務所(大谷所長)を訪問、鹿島港外港地区(洋上風力基地港湾埠頭)の整備状況と今後のスケジュール等の視察研修会を実施しました。

今後、国が掲げるカーボンニュートラル目標実現に向け、その一躍を担う千葉県名洗港と茨城県鹿島港との連携で、脱炭素の切り札として期待されている洋上風力発電事業がさらに加速して行くこととなります。



●県政や銚子市のご要望をお気軽にお寄せください...

ホームページ

信田光保

検索

しだ光保事務所

〒288-0044 銚子市西芝町13-20 JBビル2F

TEL.0479(25)3284 FAX.0479(22)1816